

## イノベーション実現のプロセス「デザイン思考」

## デザイン思考とは？

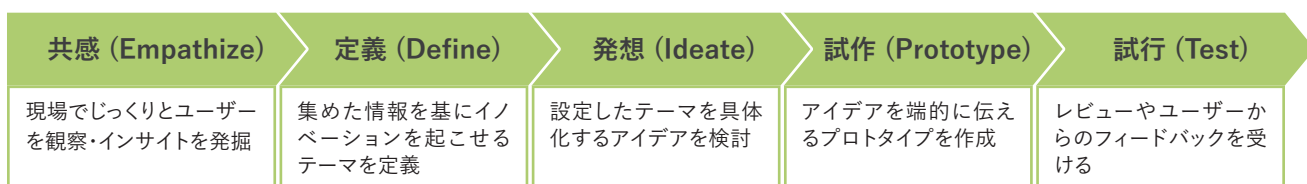
デザイン思考とは、ユーザーへの徹底的な観察によって発掘した「隠れた欲求=インサイト」を起点とする、イノベーション創出の思考プロセスです。

デザイン思考で生み出されたイノベーションの1つに「iPod」が挙げられます。開発時にはユーザーを徹底的に観察し、その多くが「面倒だ」と感じながらもCDからPCを中継し、プレイヤーに音楽を入れなおしていることを発見。ここから「どこでもその場で選んだ音楽を聴きたい」というユーザーのインサイトを発掘し、「全ての曲をポケットに入れて持ち運ぶ」などのコンセプトが生まれ、約2カ月で100以上のプロトタイプが制作されました。そうして幾度も試作とテストの果てに、初代 iPod が完成したのです。

近年、高品質な商品・サービスの流通により、個々の差別化がどんどん難しくなっています。ユーザーとしてはどの商品を選んでも一定の満足を感じるが、逆に心から満足するものは少ないという心理になりがちです。このような状況下では、ユーザーの抱える無意識の課題に、これまでになかった新しいアイデアが眠っているため、そのインサイトを如何に発掘できるかが商品開発の鍵となります。そのため、インサイトの発掘から仮説・プロトタイプ・検証までをスピーディーに回すデザイン思考が今、注目されているのです。

## デザイン思考のプロセス

デザイン思考は下記の5段階で構成されますが、中でも特徴的なのが徹底的な観察によるインサイトの発掘です。



## 3つのインサイト

インサイトには下記3種類があり、デザイン思考ではこれを意識して、ユーザー観察やヒアリングをしていきます。

- 無自覚：自覚していないもの、本人が気づいていないもの
- 未表出：何となく自分の欲するものに気づいているが、言語化できていないもの
- 忌避：何となく自分の欲するものに気づいているが、共感を得にくいために自分で表現することを避けているもの

さらに観察によって得たインサイトに意味づけをし、斬新または挑戦的なテーマ(コンセプト)を定義することで、イノベーションの創出につなげます。

## PICK UP おすすめ研修のご紹介

## デザイン思考研修

～イノベーション実現のプロセスを学ぶ

多様な顧客ニーズに応える新しい商品・サービスを生み出したり、不連続な成長に資するアイデアを出すための思想、プロセスとして、デザイン思考の概要と、その5つのプロセス(共感・定義・発想・試作・試行)について学びます。

【開催日】

東京1月23日(木)2月21日(金)他

## 創造力強化研修

～クリエイティブシンキングのためのマインドとスキル

創造力を強化するうえで不可欠な3つのマインド「知的好奇心を持つ」「ゼロベースで考える」「顧客を意識する」と、2つのスキル「課題設定力」「発想力」を身につけます。

【開催日】

東京1月9日(木)19日(日)  
名古屋1月16日(木) 大阪2月28日(金)  
福岡2月7日(金)他

## 構想力強化研修

～アイデアを実現するまでのプロセスを学ぶ

様々な事例のご紹介を通して、先達がどのように「構想力」を発揮して事業を拡大させてきたのかを学び、発想を形にしていく(=構想する)ための具体的ステップを理解します。

【開催日】

東京1月10日(金)他

開催スケジュールはこちら!!

# 階層別テストから見る初級管理職の傾向

## ■インソースの「階層別テスト」

「若手」「中堅」「初級管理職」「上級管理職」の4つの階層における、個人および自組織のスキルレベルが把握できるため、より効果的な教育戦略を立案できるようになります。詳細はWEBをご覧ください。



今回は約9,500名の方(2019年9月末時点)に受検いただいた階層別テストのうち、初級管理職向けテストの結果を一部、ご紹介いたします。

「プロジェクトマネジメント」「経営戦略」「人材マネジメント」等、初級管理職に必要なスキルの知識と活用力をテストすると、全国的に「リスクマネジメント」の平均正答率が高く、データのバラツキ(変動係数)が小さいことがわかりました。(図1)これは、初級管理職層においてリスクマネジメントスキルを有する人材が多いことを表しています。近年、コンプライアンスやハラスメント関連研修のお問い合わせが増え、そういった研修の充実が寄与しているものと考えられます。

その一方で、「経営戦略」の平均正答率が最も低いという結果も出ました。データのバラツキが大きいことから、正解している人とそうでない人の差が激しいスキルであることを表しています。

実際の現場においても、初級管理職になると、経営的視点を踏まえたうえで物事を判断する機会が増えることから、この階層では特に経営戦略を学ぶ場を設けることが重要になってくるでしょう。

また、さらに詳細に見ていくと、経営戦略スキルを構成する要素のうち「時事知識」の平均正答率が低く、データのバラツキが大きいことがわかりました。(図2)このことから、初級管理職の経営戦略スキル向上のためには、まずは社会・経済環境の変化といった「時事知識」を身につけることが肝要と言えます。例えば、外部環境を学び、分析する機会を設けることは、マーケティング戦略の見直しや、新事業の立ち上げなどに繋がり、組織に良い影響を与えます。

このほかにも、「階層別テスト」では自組織の結果と全国平均を比較できるため、一目で自組織に足りないスキルを把握することができます。ぜひ効果的な教育戦略の立案にご活用ください。

図1：初級管理職向けテストの全国平均

▼図2：経営戦略に必要なスキルの全国平均

図1	平均正答率	変動係数
プロジェクトマネジメント	80.2%	0.24
経営戦略	<b>61.7%</b>	<b>0.50</b>
人材マネジメント	80.8%	0.22
リスクマネジメント	<b>81.5%</b>	<b>0.21</b>
コストマネジメント	75.1%	0.38

図2	平均正答率	変動係数
AI知識	59.6%	0.82
時事知識	<b>53.2%</b>	<b>0.94</b>
イノベーション	71.7%	0.63

※ 変動係数とは標準偏差を平均値で割ったものであり、単位が異なる場合のデータのバラツキを表す指標です

## お試し版!

## 階層別テスト：初級管理職 – 時事知識編 –

Q. 次のうち、「シェアリングエコノミー」及び「シェアリングビジネス」の説明として不適切なものを1つ選んでください。※回答は本頁右下

① シェアリングビジネスは、大きく分けて「空間」・「移動(乗り物)」・「モノ」・「スキル(人)」・「お金」のシェアの5つに分類される。この中の「スキル(人)」は、文字どおり個人の「知識」や「技能」をシェアするものであるが、シェアリングビジネスにおいては、語学能力やプログラミングなど専門知識を必要とするものだけに限らず、「家事代行」・「子どもの送迎」など幅広い領域をスキルとしてとらえている。

② シェアリングエコノミーとは、典型的にはインターネットを介して個人または組織が保有している遊休資産を他者に貸し出し、共有することを指す。その多くは、企業があくまで貸し手と借り手を結ぶプラットフォームを提供する立場となるため、「CtoC」の取引といわれる。また、その取引方法はオークション形式であることから、取引に関するトラブルも生じやすい状況となっている。

③ シェアリングビジネスの一種であるカーシェアリングとライドシェアリングは混同されがちであるが、異なるサービスである。カーシェアリングは事業者・個人が所有する車両を利用者(ドライバー)に貸し出すサービスであるのに対し、「ライドシェアリング」は車両の所有者(ドライバー)と利用者(同乗したい人)を結びつけるサービスである。日本においては、カーシェアリングは大手貸駐車場企業を筆頭に普及が進んでいるものの、ライドシェアリングは法律や安全面の観点から欧米ほど普及が進んでいない。

④ シェアリングビジネスとして日本でいち早く浸透した「民泊」は、自身が所有する建物や部屋を、インターネットのマッチングサイト等を通じて個人が個人に貸し出すビジネスである。当初、法律が整備される前に広まったため違法民泊が相次いでいたが、現在では法律の整備が進んでおり、「旅館業法」に基づく許可、「特区民泊」に基づく認定、2018年6月に施行された民泊新法(住宅宿泊事業法)に基づく届出申請のいずれかがあれば個人宅であっても「民泊」が可能である。

お問い合わせはこちら

インソース公開講座に関するお問合せは  
**0120-800-225**  
 (※ガイダンスに従って①を選択)  
[info-kokai@insource.co.jp](mailto:info-kokai@insource.co.jp)

WEBサイトもございます

インソース 公開講座

検索



**in**source